

近畿工業

女子プロサッカーチームに協賛

スポーツと技術の力で社会貢献へ



多種多様な環境機器の製造・販売を展開する近畿工業(神戸市、和田知樹社長、078・351・0770)は、日本女子プロサッカーリーグ(WEL리그)の「INAC神戸レオネッサ」運営・アイナックフットボールクラブと、2025/26シーズンのスポンサー契約を締結した。「スポーツの力で心を動かし、技術の力で社会を動かす」との

思いで、新たな挑戦を行っていく。

この契約により、同社はINAC神戸レオネッサのホームゲームにおいて、選手たちが入場するゲートにロゴマークと応援メッセージを掲出。知名度向上を図るとともに、試合に挑む選手たちを全力で後押しするという。同社は、「ハッピー



AC神戸レオネッサはサッカーを通じて、人々の心豊かな生活を創造するために挑戦を続けているチームであり、その理念に共感した」としている。

カンパニー」という企業理念の下、廃棄物処理や資源リサイクルを担う機械メーカーとして、環境課題の解決に取り組んできた。今回の協賛については、「これからも、人と地球の幸せに私たちの技術が関わることで、夢や希望を持つ子どもたちの未来を支える持続可能な社会の実現に貢献したいと考えている。INAC神戸レオネッサはサッカーを通じて、人々の心豊かな生活を創造するために挑戦を続けているチームであり、その理念に共感した」としている。

記者手帳

再資源化事業等高度化法の施行を控

同業者が持ち込む廃棄物を預かる処理業界(特に中間処理業者)では、有用な再資源化物を得るために、個別廃棄物に混ざった異物除去や混合廃棄物の分選別精

くずを対象とし、破砕等の処理を行うもの想定される。それら施設では、これまで個別リサイクルが可能な品目を分選別し、結果的に破砕等の工程を経ずに搬出することが適法か否か判断に悩む部分があり、自治体ごとに理解も分かれそ

破砕等経ない分選別行為で前向きな議論

え、従来の廃棄物等の有効利用から一歩踏み込んだサーキュラーエコノミー(循環経済)の社会要請も高まりつつある様子だ。排出事業者や

2次処理先の再資源化施設へ搬出することと一般的な行われ選別の中間処理業の許可は、許可権者となる全国の地方自治

みについても説明した。

法を伝えている。実物のパッカー車を用いたごみ投入体験も行われた。最後に行われた質疑応答では、子ども達からゲーム機の排出方法等について質問が挙がった。

型社会の形成を促進するもの。産業廃棄物税を活用している。募集対象者は、企業、団体、グループであること(個人は応募不可)。選考結果は来年1月下旬に公表し、表彰式は同2月中旬に開催予定となっている。

・将来生社会生・皮問合わせは、愛知

環境学習出前授業を実施

栃木県／栃木循環協青年部

寸劇等を通じて分別を学ぶ

廃棄物が家庭から排出されて施設で処理・リサイクルされるまでの流れが説明され、寸劇「プラスチックや分別は、家庭から排出され

総合学習の一環として行われた。栃木県資源循環推進課企画推進担当技師の池上美穂氏